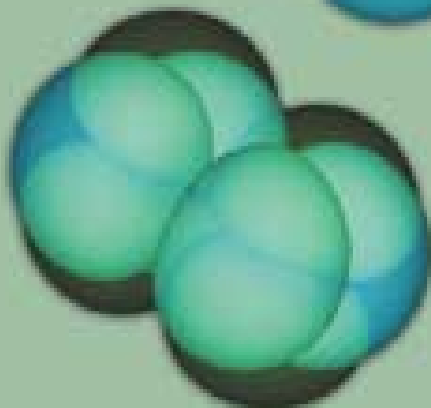
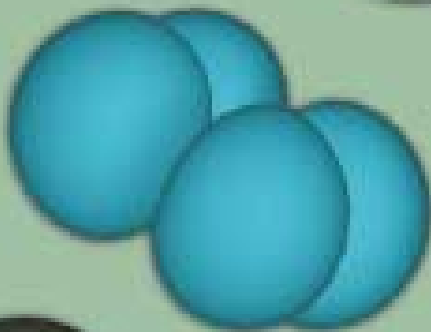
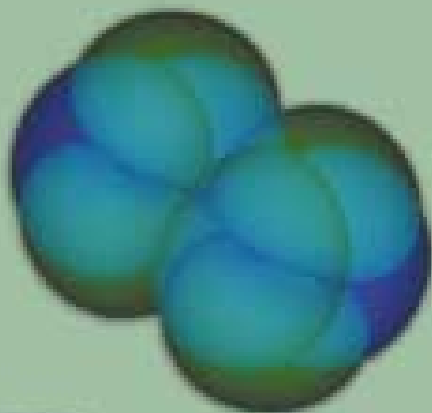


第54期

中間事業報告書

平成12年10月1日から  
平成13年3月31日まで

 浜松東トクガス株式会社





株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第54期上半期（平成12年10月1日から平成13年3月31日まで）の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当上半期のわが国の経済は、後半から米国経済が急減速を開始し、国内の製造業におきましても生産調整が行われるなど、経済活動も足踏み状態となり、この結果、景気の先行きに対する不安感が高まる中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社は、これまで培ってきた当社独自の光技術を駆使することで、高性能・高品質の製品を提供するとともに、需要拡大にマッチした製造能力の向上および製造効率の改善を進めることにより、売上高および利益の更なる拡大に全社をあげて努力してまいりました。

この結果、当上半期の業績につきましては、売上高は27,847百万円と前年同期に比べ6,532百万円（30.6%）の増加となりました。また、利益面につきましても、経常利益は4,683百万円と前年同期に比べ2,174百万円（86.7%）増加し、中間利益につきましても1,966百万円と前年同期に比べ543百万円（38.2%）増加し、増収増益となりました。

今後の見通しにつきましては、米国経済の先行きは依然不透明であり、一方国内においても企業活動の停滞感が強く、依然として景気は先行きの見えない厳しい状況にあると認識しております。

このような環境の中、当社といたしましては、基礎研究・応用研究を引続き積極的に推し進め、蓄積した技術力を活かして、主要製品であります光電子増倍管、光半導体素子、画像処理・計測装置の性能向上、品質向上を図るとともに、新たな市場、新たな産業を構築することで収益の拡大を図ることにより、株主の皆様のご期待にそえるよう努力してまいり所存でございます。

なお、3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主のご所有株式数を、5月21日をもって1株につき2株の割合にて分割させていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年6月

取締役社長 晝馬輝夫

## 事業の概況

### 電子管事業本部

当事業本部は、電子管第一事業部と電子管第二事業部とで構成されております。

電子管第一事業部におきましては、主力の光電子増倍管が米国向けPET（ポジトロンCTスキャナー）需要の拡大により売上げが増加したことに加え、超高感度のコンパクトタイプ光電子増倍管が遺伝子の読み取り検査装置向け等の分野において売上げを伸ばすなど、全般的に好調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。電子管第二事業部は、前期に引続きUVスポット光源、マイクロフォーカスX線源が情報技術分野・半導体分野等において堅調に売上げを伸ばすとともに、X線シンチレータ付ファイバオプティックプレート（FOS）が新たに業績向上に寄与したこと等により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、電子管事業本部といたしましては、売上高は9,860百万円と前年同期に比べ28.7%の増加となりました。



コンパクトタイプ光電子増倍管  
モジュール

### 固体事業部

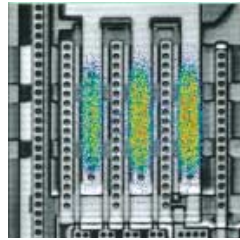
固体事業部における光半導体素子は、光通信等に用いられるインジウムガリウム砒素フォトダイオードの売上高が急増するとともに、X線CT用のシリコンフォトダイオードも国内外において順調に売上げを伸ばしました。またコンピュータ関連でも、主に外部記憶装置向けにフォトダイオードが売上げを伸ばすなど、売上高は12,126百万円と前年同期に比べ45.7%の増加となりました。



インジウムガリウム砒素フォトダイオード

## システム事業部

システム事業部の画像処理・計測装置は、半導体検査装置がIT（情報技術）業界向けの需要拡大により売上げを大幅に伸ばすとともに、デジタルカメラがその高感度、高性能を評価され引続き欧米を中心に好調な売上げを示しました。一方、官公庁向け学術研究用途の需要は伸び悩みましたものの、工業用途を中心に全般的に売上げは堅調に推移したことにより、売上高は5,373百万円と前年同期に比べ8.6%の増加となりました。



半導体検査装置による解析画像  
（発光部分が欠陥部位）

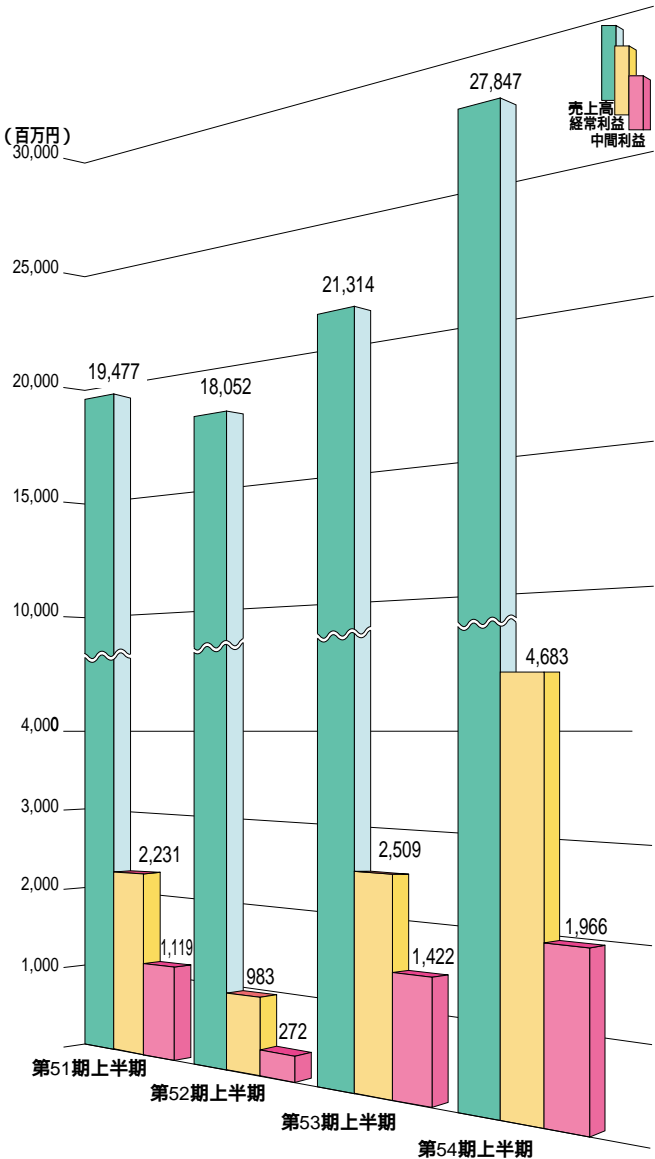
## 研究開発

当社におきましては、光を用いたメディカル、バイオ、農業、通信、情報、エネルギー、宇宙・天文等の幅広い分野の研究を進めております。この中で、今回は超並列ビジョンシステムの開発状況についてご紹介いたします。

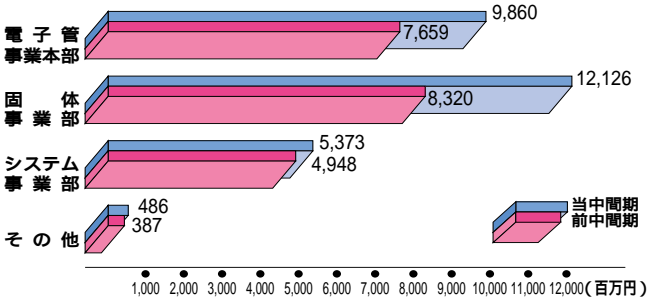
現在の画像処理システムではビデオ系の速度である一秒間に30コマがネックとなり、システム全体の性能を大きく制限しております。

当社が東京大学と共同で、しずおか産業創造機構およびNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託研究により開発した新しい視覚情報処理システムであるインテリジェントビジョンシステムでは、光検出器アレイと演算素子アレイを並列接続し、この問題を解消しました。さらに、当社の半導体技術を駆使することで、光検出器アレイ、アンプアレイおよびAD変換器アレイならびに演算素子アレイを1チップ化することを実現いたしました。これによってコンパクトで高機能な視覚システムの完成が現実のものとなり、従来では不可能であった高速での画像取得・処理・制御を可能とし、今後、幅広い分野における利用が期待されております。

## 売上高・利益の推移

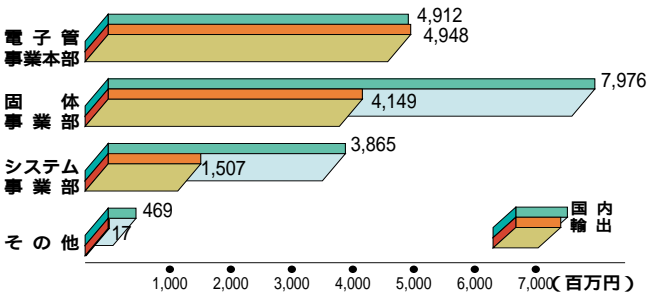


## 部門別売上高

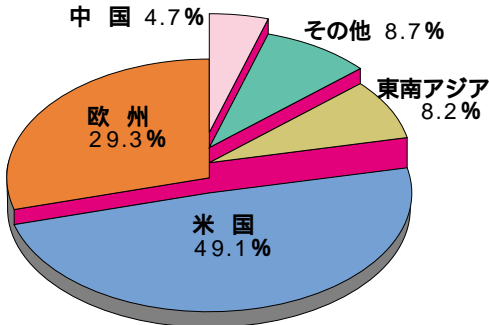


(注) 当上半期は、「その他」に分類しておりました売上高の一部を各事業部に変更いたしました。これに伴い前上半期につきましても同様に組み替えて表示しております。

## 国内および輸出高



## 仕向先別輸出高の割合



# 貸借対照表

(平成13年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	59,750	<b>流動負債</b>	24,728
現金及び預金	26,706	支払手形	7,736
受取手形	4,856	買掛金	2,115
売掛金	16,977	短期借入金	3,400
自己株式	2	一年以内返済予定長期借入金	352
商品	23	未払金	1,695
製品	1,620	未払法人税等	1,698
原材料	2,449	未払費用	382
仕掛品	5,726	前受金	345
貯蔵品	467	預り金	157
前払費用	56	賞与引当金	1,716
未収入金	298	設備購入支払手形	4,322
繰延税金資産	545	社内預金	801
その他	103	その他	3
貸倒引当金	84	<b>固定負債</b>	42,325
<b>固定資産</b>	50,621	転換社債	21,454
<b>有形固定資産</b>	38,265	長期借入金	12,559
建物	13,566	退職給付引当金	8,092
構築物	368	役員退職慰労引当金	219
機械及び装置	5,911	<b>負債合計</b>	67,053
車両運搬具	38	<b>資本の部</b>	
工具、器具及び備品	2,961	<b>資本金</b>	14,908
土地	11,210	<b>法定準備金</b>	15,256
建設仮勘定	4,208	資本準備金	14,624
<b>無形固定資産</b>	269	利益準備金	631
特許権等	19	<b>剰余金</b>	13,153
借地権	29	特別償却準備金	263
ソフトウェア	201	別途積立金	10,300
その他	18	中間未処分利益	2,950
<b>投資等</b>	12,086	(うち中間利益)	(1,966)
投資有価証券	2,451	その他有価証券評価差額金	360
子会社株式	5,046		
出資金	267		
子会社出資金	809		
長期貸付金	11		
繰延税金資産	2,460		
その他	1,053		
貸倒引当金	14		
<b>資産合計</b>	110,371	<b>資本合計</b>	43,318
		<b>負債・資本合計</b>	110,371

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額  
 2. 保証債務  
 3. 1株当たり当上半期利益

40,647百万円  
 963百万円  
 59円18銭

(平成12年10月1日から平成13年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目		金	額
常 経	営 業 収 益		27,847
	売 上 高	27,847	
	営 業 費 用		23,290
	売 上 原 価	14,760	
	販売費及び一般管理費	8,529	
	営 業 利 益		4,556
損 益	営 業 外 収 益		828
	受取利息及び配当金	271	
	投資不動産等賃貸収入	126	
	為 替 差 益	290	
	その他の営業外収益	140	
	営 業 外 費 用		702
	支払利息及び割引料	153	
	社 債 利 息	32	
	社 債 発 行 費	457	
	投資不動産等に係る諸費用 その他の営業外費用	56 3	
	経 常 利 益		4,683
特 別	特 別 利 益		1
	特 別 損 失		1,365
	固定資産売却及び除却損	108	
	投資有価証券売却及び評価損	117	
	退職給付会計基準変更時差異 過年度役員退職慰労引当金繰入額	956 182	
	税 引 前 中 間 利 益		3,320
	法人税、住民税及び事業税		1,784
	法 人 税 等 調 整 額		430
	中 間 利 益		1,966
	前 期 繰 越 利 益		984
	中 間 未 処 分 利 益		2,950

## 中間配当金について

平成13年5月25日開催の取締役会において、平成13年3月31日現在の株主名簿（実質株主名簿を含む）記載の株主に対して行う中間配当につき、次のとおり決議しました。

1. 中間配当金 1株につき 7円
2. 支払請求権の効力発生日 平成13年6月13日  
ならびに支払開始日

# 株式事項

(平成13年3月31日現在)

## 株式の状況

発行済株式総数	33,347,650株
株主数	25,255名

## 大株主

浜松ホトニクス従業員持株会	2,495千株
トヨタ自動車株式会社	2,100千株
三菱信託銀行株式会社(信託口)	1,749千株
晝馬輝夫	1,607千株
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	952千株
株式会社あさひ銀行	706千株
ザバンクオブニューヨーク オープンハイマーファミリーアカウント	656千株
大塚治司	570千株
日本生命保険相互会社	525千株
年金信託受託者 中央三井信託銀行株式会社2口	437千株

## 株主メモ

決算期	毎年9月30日
定時株主総会	毎年12月
基準日	(1)定時株主総会については9月30日といたします。 (2)その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460 8685 名古屋市中区栄二丁目3番6号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 電話(052)231 1145(代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社本店、および全国各支店 日本証券代行株式会社本支店、出張所
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単位の株式の数	100株

住所変更届、改印届等のお届出、配当金のお支払い、および単位未満株式の買取請求その他のお問合せ等は、すべて上記中央三井信託銀行株式会社でお取扱いいたします。なお、「財団法人証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届、および手続等に関するお問合せは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

(平成13年3月31日現在)

代表取締役社長	晝馬輝夫
代表取締役副社長	大塚治司
常務取締役	晝馬日出男
常務取締役	山本晃永
常務取締役	鈴木義二
常務取締役	加藤昌由
常務取締役	竹内純一
取締役	高下信一行
取締役	鈴木志明
取締役	田中栄一
取締役	松井昌一
取締役	加藤伸一
取締役	内山博文
取締役	小池隆司
常勤監査役	小吉池隆男
常勤監査役	横沢文隆
監査役	荒木隆司

## 会社の概要 (平成13年3月31日現在)

設立	昭和28年9月29日
資本金	14,908,558千円
従業員数	1,938名(男性1,530名、女性408名)
主要営業品目	光電子増倍管、映像管、光源、光半導体素子、画像処理・計測装置
本社事務所	〒430 8587 静岡県浜松市砂山町325番地の6 日本生命浜松駅前ビル ☎(053)452 2141
本社工場	〒435 8558 静岡県浜松市市野町1126番地の1 ☎(053)434 3311
三家工場	〒438 0127 静岡県磐田郡豊岡村三家768番地の8 ☎(0539)63 5810
豊岡製作所	〒438 0193 静岡県磐田郡豊岡村下神増314番地の5 ☎(0539)62 3151
天王製作所	〒435 0052 静岡県浜松市天王町1705番地 ☎(053)421 7126
常光製作所	〒431 3196 静岡県浜松市常光町812番地 ☎(053)435 1560
都田製作所	〒431 2103 静岡県浜松市新都田一丁目8番3号 ☎(053)484 1300
東京支店	〒105 0001 東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル5階 ☎(03)6436 0491
大阪営業所	〒541 0051 大阪市中央区備後町三丁目3番9号 静岡産業ビル1階 ☎(06)6271 0441
筑波営業所	茨城県つくば市東光台五丁目9番4号 ☎(0298)47 3821
仙台営業所	〒980 0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目6番11号 日本生命仙台台町当ビル2階 ☎(022)267 0121
中央研究所	〒434 8601 静岡県浜北市平口5000番地 ☎(053)686 7111
筑波研究所	〒300 2635 茨城県つくば市東光台五丁目9番2号 ☎(0298)47 5161

(注)平成13年10月1日より、以下のとおり大阪営業所の住所が変更となります。  
 〒541-0052 大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビルディング10階  
 ☎(06)6271 0441

# HAMAMATSU

表紙の写真は酸素分子の電子分布図です。酸素は光技術の医用分野への応用と密接な関係をもつ重要な分子であります。